

公立大学法人前橋工科大学の年度業務実績評価の考え方について

1 評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 中期目標の達成に向けた、法人の中期計画及び年度計画の実施状況を確認する。
- (2) 法人の特筆すべき取組みや成果を積極的に評価する。
- (3) 評価を通じて、法人の管理運営、大学の教育研究の質的向上を図る。
- (4) 法人の管理運営、大学の教育研究などの実績及びそれに対する評価は広く関係者に公表する。

2 評価の方法

(1) 年度評価の進め方

- ・年度評価は、法人による自己点検及び自己評価の評価結果を踏まえ、その内容が適切かどうかを評価委員会が評価する。

(2) 法人による自己点検及び自己評価

- ・法人は、各事業年度の業務実績について、自ら確認及び評価を行い、業務実績に関する報告書を作成する。
- ・報告書は、「公立大学法人前橋工科大学の概要」、「項目別実績評価」及び「全体実績評価」から構成する。
- ・項目別実績評価の評価基準

評点	定義
A	年度計画を上回って実施している。
B	年度計画を計画どおりに実施している。
C	年度計画をやや遅れて実施している。
D	年度計画を実施していない。

- ・「全体実績評価」は、「項目別実績評価」及び「特筆すべき取組み・成果など」を踏まえて、中期目標における目標区分ごとに主たる取組みや成果を示すとともに、全体的な業務実績評価を記載する。

(3) 評価委員会による評価

- ・評価委員会は、法人の業務実績に関する報告を踏まえ、法人による自己点検及び自己評価が適切かどうかという視点から「項目別評価」及び「全体評価」を行う。
- ・項目別評価の評価基準

評点	定義
A	中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
B	中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。
C	中期計画の達成に向けてはやや遅れた進捗状況にある。
D	中期計画の達成に向けては進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

- ・「全体評価」は、法人の業務実績全体について総合的な評価を行う。